

○ 協働事業の概要

記入年月日 平成27年3月31日

事業名	地域でやりたいことを実現する 地域の居場所づくり事業
団体名	NPO法人 Mystyle@こだいら
担当課名	市民協働
事業期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

①地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

「地域の居場所」について、その必要性は認識しているが、漠然としたイメージしか認識できなかった多くの参加者に対し、より具体的なものを描くための「まちの居場所づくりフォーラム」や「まちの居場所づくり実践講座」による事例紹介等は、認識が深まり効果的であった。

また、居場所をつくり、運営するための手法を学んだことで、具体的なプランの準備や、運営をはじめたことまでつながっている。地域のつながりが見直される中で、人と人や、人と地域をつなぐきっかけとなる居場所が動き出している。

②団体の長所を、発揮させることが出来ましたか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。)

団体のネットワークや運営経験を十分に活用したフォーラムや実践講座のメニューは、参加者の行動へつながるものとして十分効果のあるものであった。また、参加者による個別の相談に対する、きめ細かな対応は、さらに具体的なものとなることを進めた。

③協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

昨年度に引き続き、同団体と市民の「地域でやりたいことを実現する」きっかけづくりや、後押しする事業を実施した。今年度は、事業を進めるにあたり、より互いに理解、協力し、協議や意見交換を行い進めることができた。

④改善提案がありますか。

フォーラムから始まり実践講座の開催、調査の実施・まとめまで、ほぼ一年間を要する事業であった。互いのスケジュール等の情報を交換し、事業を進める必要があった。

自由記載欄